

## JCC2015 中間報告会

- 日時：2014年7月25日（金）13:30～15:30
- 会場：東京・早稲田奉仕園会館 BF リバティホール（東京都新宿区西早稲田 2-3-1）
- 主催：2015 防災世界会議日本 CSO ネットワーク（JCC2015）

### ■実施背景・目的：

「第3回国連防災世界会議 in 仙台」（以下、仙台会議）に向けて、6月には「第6回アジア防災閣僚級会議」、7月には「第1回 Prep Com」が開催され、JCC2015事務局から代表団を派遣したほか、幹事団体・参加団体からも複数のスタッフが参加しました。一方、ホスト都市の仙台では一般公開事業となるパブリックフォーラムの公募が開始され、新しい取り組みとしてCSOとも関わりの深い「女性と防災」「防災と市民活動」の二つのテーマ館に関する具体的な内容の検討も始まりました。

JCC2015を設立して約半年、「ポスト兵庫行動枠組（HFA2）」に日本の市民社会の経験を反映させるための活動を振り返るとともに、2015年3月の会議本番に向けたワーキンググループを立ち上げることを目的に、東京での中間報告会を行いました。

### ■内容：

- ・国際アドボカシー報告 第6回アジア防災閣僚級会議、JCC2015 および参加団体の報告
- ・HFA2策定に関する進捗報告 第1回 Prep Com 参加報告
- ・会議本番への参加呼びかけ パブリックフォーラム公募、ワーキンググループについて

### ■参加：44団体62名（内訳は以下の通り）

AmeriCares／アーユス仏教国際協力ネットワーク／RQ 災害教育センター／Climate Youth Japan／ケア・インターナショナルジャパン／国際協力NGOセンター／国際自然保護連合／国連生物多様性の10年市民ネットワーク／こはく／CWS Japan／CSOネットワーク／宗教者災害支援連絡会／シャンティ国際ボランティア会／ジャパン・プラットフォーム／シャブラニール／障害分野NGO連絡会／尚綱学院大学／JIM-NET／真如苑／世界宗教者平和会議日本委員会／セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン／せんだい・みやぎNPOセンター／創価学会／ダイナックス都市環境研究所／ダイバーシティ研究所／立ち上がるぞ！宮古市田老／男女共同参画と災害・復興ネットワーク／地域連携プラットフォーム／チャイルド・ファンド・ジャパン／内閣府防災担当 普及啓発・連携担当／名古屋NPOセンター／難民支援協会／日本NPOセンター／日本障害フォーラム／日本ハビタット協会／日本フィランソロピー協会／パルシステム連合会／ピースポート災害ボランティアセンター／ふくしま連携復興センター／ふくしま地球市民発信所／プラン・ジャパン／防災ユースフォーラム／みやぎジェネット／立正佼成会一食平和基金

### ■当日の様子：



冒頭、JCC2015代表の大橋正明（国際協力NGOセンター）より2014年1月の設立以降のJCC2015としての歩みを紹介、事務局長の堀内葵（国際協力NGOセンター）からは仙台会議とHFA2策定のポイントを解説。その後、第6回アジア防災閣僚級会議に参加した小美野剛（CWS Japan）、佐藤宏美氏（ふくしま連携復興センター）、船橋邦子氏（男女共同参画と災害復興ネットワーク）からネットワークならびに各団体によるアドボカシー活動を報告。第1回 Prep Comの参加報告では、サイモン・ロジャース（ピースポート災害ボランティアセンター）がNGO分野 Organizing Partner（公式開催パートナー）として、

会議本体会議へのCSO参加資格やHFA2策定への最終プロセスなどの決定事項を紹介したほか、細井なな氏（チャイルド・ファンド・ジャパン）からも子ども・ユース分野の動きについて報告がありました。

後半は、合田茂広（ピースポート災害ボランティアセンター）、紅邑晶子氏（せんだい・みやぎNPOセンター／第3回国連防災世界会議開催 仙台開催実行委員）から、仙台市での市民の動きを紹介した上で、「市民防災世界会議」の開催を提案、ワーキンググループの立ち上げに向けた参加団体への呼びかけが行われ、会議本番に向けた準備が本格的に始まりました。